

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	88	}	62	}	山武市立 山武南中学校 (山武)
			15-13 26-12		
			26-15 21-22		

【評】

序盤、昭和学院中はオールコートマンツーマン、山武南中はハーフコートマンツーマンでスタート。昭和学院中は⑥渡辺、⑧砂川の高さを生かしたオフェンスで得点。対する山武南中は④山本の巧みな1 on 1 で得点。一進一退の攻防が続く。第2Q残り3分を切ったところで昭和学院⑤松尾が3ポイントを沈め、9点リードとすると、山武南中も④山本がドライブをよく決め食い下がる。昭和学院は⑨大城らがリバウンドをよく粘りリードを広げ後半へ。

後半に入ると、昭和学院中は⑩茂木らがリズムよく得点しリードを広げる。対する山武南中も④山本、⑥森久の3ポイント、⑦石渡の速攻などで食い下がるも、その差が縮まらない。第4Q、昭和学院の勢いに乗り⑮古川のスティールから、⑩茂木の速攻などが決まる。対する山武南中も④山本、⑧浦田のドライブで応戦するも、そのまま試合終了。最後まで粘り強く食らいついた山武南中の選手たちに拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

市川市立 妙典中学校 (市川・浦安)	44	}	59	}	船橋市立 海神中学校 (船橋)
			7-18 16-10		
			14-14 7-17		

【評】

シード校を破って勝ち上がった妙典中と第2シード海神中との準決勝。両者ハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、海神中は④遠田、⑤干のドライブ、⑨高橋、⑩松本のポストプレイで得点。対する妙典中は、⑤磯辺のドライブを中心に得点する。海神中がリードを広げ第2Q、妙典中が⑩島田のポストプレイ、速攻、④石戸の3ポイントで徐々に差を縮め、後半へ。

第3Q、海神中は⑨高橋、⑩松本のポストプレイで再び引き離しにかかる。妙典中も、スピードあふれる速攻、⑥片岡、⑩島田のポストプレイで食い下がり、一進一退の攻防となる。第4Qに入ると、妙典中が速攻からのリズムをつかみ、2点差に詰め寄る。海神中も④遠田の3ポイント、⑨高橋、⑩松本の粘り強いリバウンドからのシュート、⑤干のドライブなどで徐々に引き離す。妙典中は最後まであきらめずにボールを追うも、そのまま試合終了。海神中が昨年度のリベンジをかけて決勝に駒を進めた。敗退したものの、シード校と対等に戦った妙典中の健闘を称えたい。

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	58	}	46	}	船橋市立 海神中学校 (船橋)
			10-11 14-11		
			16-16 18-8		

【評】

昨年度の新人大会決勝戦と同カードの一戦。序盤、両チームともはげしいDefでスタート。リベンジを狙う海神は④遠田、⑤干、⑪小山の果敢なドライブや速攻で得点。昭和学院中も粘り強いDefからのスティール、⑤松尾のドライブ、⑥渡辺のインサイド、⑨大城の速攻からのレイアップで応戦。一進一退の攻防が続く。第2Qに入ると、昭和学院中がよく走り、速攻が決まる。昭和学院⑦倉林のドライブから⑥渡辺のインサイドへの合わせなどがよくきまり、突き放しにかかるも、海神中も④遠田のドライブ、3Pなどで食い下がる。

後半に入ると、海神中がリズムをつかみ始める。海神⑤干、⑨高橋のハイロー、ドライブで次々と得点し、④遠田のフリースローで逆転。昭和学院も⑥渡辺、⑧砂川の粘り強いインサイドで再逆転。一進一退の攻防が続く。第4Qに入り昭和学院中のオールコートディフェンスが機能し、スティールからの得点、⑥渡辺、⑦倉林のピック&ロールからのシュートが決まり、徐々に差が開き始める。海神中も④遠田、⑤干の速攻、ドライブで食い下がるも、昭和学院中は攻撃の手をゆるめず、リバウンドシュートを確実に沈め、試合終了。昭和学院中が千葉県新人大会9連覇を果たした。最後まであきらめずコートを走り続けた海神中の選手たちにも拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

市川市立	49	9-15	64	柏市立
		13-13		
下貝塚中学校 (市川・浦安)		11-21		松葉中学校 (柏)
		16-15		

【評】

両者ともオールコートマンツーマンで始まった第1Q、お互いに速いパス回しからの展開で見ごたえのあるゲーム展開。松葉中は⑦築館、⑧豊田のドライブから得点を重ねる。対する下貝塚中も、⑥矢作の3ポイント、⑧安本のロングシュートなどで得点。松葉中は⑦築館の巧みな1 on 1からの得点でリードを広げる。第2Qに入ると下貝塚中は⑤安田のスリーポイント、⑥矢作のカットイン、④渡邊のドライブでその差を縮める。松葉中は④岩本の力強いポストプレイ、⑦築館のインサイドで再び差を広げる。

後半に入ると、下貝塚中は、Defのプレッシャーを強め、④渡邊、⑨鴻巣の鋭いドライブ、⑪松川の3ポイントで得点し松葉中に迫る。対する松葉中は④岩本、⑦築館の巧みなボールコントロールと豊富な運動量でリードを広げ、追従を許さない。下貝塚中は④渡邊の粘り強いリバウンドからの速攻、⑥矢作のドライブなどで追いつこうとするも、そのまま試合終了。最後まで足を動かし続け、粘り強いDefを展開した下貝塚中の健闘を称えたい。

〔男子準決勝〕

館山市立	44	13-25	72	市原市立
		4-17		
第三中学校 (安房)		12-10		ちはら台南中学校 (市原)
		15-20		

【評】

ノーシードから勝ち上がった館山三中とシード校のちはら台南中との闘い。両チームともマンツーマンDefでスタート。第1Q、流れをつかんだのはちはら台南中リバウンドからの速攻、⑤滝沢のインサイドプレイで得点。対する館山三中はインサイドの守りを固めるもちはら台南⑦金森のバスケットカウント、⑥松井の3Pで点差が広がる。第2Qに入ってもちはら台南中のリズムは崩れず、館山三中は⑤内藤の1対1を中心に点差を詰めようとするも、思うように点が伸びない。

後半に入り、館山三中は⑨鈴木のバスケットカウント、⑤内藤の速攻や1対1で追い上げを狙うも、ちはら台南中はオフェンスリバウンドからの得点を確実に沈め流れを譲らない。第4Q、館山三中はディフェンスをオールコートにして勝負に出る。ちはら台南中は、ボール運びでミスが続き、点差が縮まり始めるが、残り2分でのタイムアウトにより落ち着きを取り戻し、追従を許さない。最後まで攻撃の手をゆるめなかったちはら台南中が決勝進出を決めた。敗れはしたものの、あきらめずに果敢にゴールを狙い続けた館山三中の健闘を称えたい。

〔男子決勝〕

柏市立	93	23-11	58	市原市立
		27-10		
松葉中学校 (柏)		22-18		ちはら台南中学校 (市原)
		21-19		

【評】

新人戦、柏勢初優勝を狙う松葉中と、激戦区市原地区代表のちはら台南中との決勝戦。序盤、両チームともオールコートマンツーマンでスタート。松葉中は素早いヘルプディフェンスを駆使した激しいプレッシャーからの早い展開で得点。対するちはら台南中は巧みなロングパスからの得点で応戦。第2Q、松葉中は⑦築館のドライブ、⑤増子のリバウンドシュートを確実に沈め、徐々に差を広げる。ちはら台南中も⑦金森の3P、⑤滝沢、⑨美濃の力強いリバウンドからのセカンドチャンスを狙うも、松葉中の堅い守りに阻まれる。

後半に入っても、松葉中はオールコートディフェンスの手をゆるめず、⑥太田のミドルシュート、④岩本のドライブがよく決まる。対するちはら台南中は④藤田、⑤滝沢の粘り強いリバウンドからのシュート、⑧安孫子の速攻で得点し追いつがる。第4Qちはら台南中は、積極的にプレッシャーを仕掛けるオールコートディフェンスで松葉中のミスを誘い、⑤滝沢の果敢なリバウンドシュート、⑦金森、⑧安孫子の速攻で得点する。松葉中は④岩本のジャンプシュートがよくきまり、追従を許さない。最後は松葉中がリードを守り試合終了、新人戦初優勝に輝いた。最後まで粘り強いリバウンドなどで戦い続けたちはら台南中の健闘を称えたい。